

農林水産委員会の 県内調査に行ってきました。



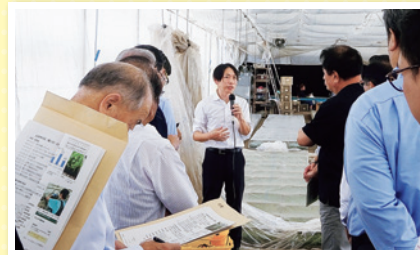
農林水産委員会の第1回県内調査に行ってきました。

調査したのは、**豊川市のスプレーム※ほ場**と、**蒲都市の愛知県水産試験場**です。

豊川市でスプレームの栽培に取り組む山田裕也氏は、就農以後15年間で**生産規模を2倍に拡大**。**生成AIを活用**して市場が求める適量を把握するなど、**効率的な経営**を実践しています。また、従業員と**アプリを共有**。出退管理のほか、アプリで休みの申請などをもらうことで、**人員の確保**に役立っています。

愛知県水産試験場では、海域の窒素やリンの減少による**栄養塩不足**で、**ノリの色落ち**や**アサリの肥満度が低下**、**漁獲量が減少**するという課題を学ぶとともに、豊かな海と水質保全の両立に向けた、**栄養塩増加の取り組み**を確認しました。

※1本の茎から枝分かれして複数の花を咲かせる洋菊



活動のご報告 岡崎市や幸田町を中心に、皆様のご意見を伺っています。

3/26 教育支援センターの 完成内覧会に参加

岡崎市に移転した教育支援センターの完成内覧会に大村知事もお見えになる中、あいち民主県議団の江原史朗県議と参加しました。不登校支援拠点も兼ねるこの施設では、メタバースを活用した子ども達の居場所づくりも始まります。



3/27 岡崎警察署を訪問

働く組合員や地域にお住まいの皆さんからのご意見、市議の皆さんが取りまとめられた要望事項を持って岡崎警察署を訪問しました。交通課の皆さんに管内の交通課題や劣化箇所の修復について要望し、意見交換をしました。



6/10 パラアスリート特別授業

原のりひこ岡崎市議の地元・奥殿小学校で、パラアスリート特別授業が実施されました。車椅子バスケットボール網本麻里選手の特別授業は、カッコ良く、すごい連続でした。網本麻里選手を含めたパラアスリートの皆さんの応援をお願いします。



5/26 サプライチェーン 未来サミット

適正取引の推進や中小企業が稼ぐ力を伸ばすための「サプライチェーン未来サミット」に細井しんじ県議と参加しました。取り組み方針を伺い、県議として補助金や支援融資策の利便性向上にもっと注力する必要性を再認識しました。



5/28 トイレカーの視察

新明工業さんからトイレカー展示のご案内をいただきました。導入自治体の予算確保に優しい600万円台と400万円台の価格で、女性ニーズを徹底的に反映しています。県内各市町村に有益なトイレカーのPRを、仲間の議員と連携して図っていきます。



6/2 トヨタのBEV専用車種の プロジェクト中止について

トヨタのBEV専用車種のプロジェクト中止の詳細を把握するために田原工場へ。中小企業の皆さんが、トヨタや大手1次企業に言いたくも言えないことを、しっかりと現地現物でキャッチし、サプライチェーン課題の解決に繋げていきたいと思っています。

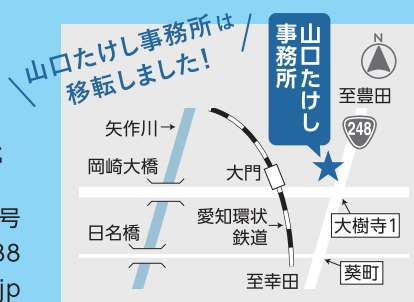


ご意見などございましたら

下記までご連絡ください。

発行 **山口たけし事務所**

〒444-2134 岡崎市大樹寺3丁目1-7-105号
TEL: 0564-21-6376 FAX: 0564-21-2388
E-mail: takeshi-yamaguchi@tmwu.or.jp



お近くにお越しの際は、
ぜひお立ち寄りください。



公式サイト



2026.7.30発行



山口 たけし

愛知県議会議員(岡崎市・幸田町選出)

あいち民主県議団(副幹事長)／

農林水産委員会(副委員長)



今年も暑い夏に突入していますが、お身体の具合はいかがですか？

いよいよ**9月19日(土)から待望のアジア競技大会**、そして**10月18日(日)からアジアパラ競技大会**が開幕します。

第二次世界大戦後、戦禍によって引き裂かれたアジア諸国の絆を、スポーツを通じて取り戻し、**アジアの恒久平和に寄与したいとの願いを込めて開催されたのがアジア競技大会の始まりです。**

ウクライナやイランなど、世界の各地域で紛争が絶えない今こそ、**愛知県で行われるスポーツの祭典を通して、世界が一つになるように、皆さんと一緒に大会を盛り上げたいと思います。**



アジア競技大会公式HP



アジアパラ競技大会公式HP

「モノづくり王国」だけではない！ 愛知県の「農林水産業」の実績を紹介します。

愛知県では多様な農林水産業が営まれており、**農業出荷額は全国8位!**
愛知県民の豊かな暮らしづくりを推進するため、さまざまな取り組みを実施しています。**「農林水産委員会」副委員長を拝命した今、改めて愛知県の農林水産業を盛り上げる活動に尽力してまいります。**

愛知県の製造品出荷額等は58兆218億円(経済産業省「2024年経済構造実態調査」)、製造業従事者数は80万7,694人(令和3年経済センサス-活動調査産業別集計(製造業))です。



愛知県の農林水産業の現状

◆ 農業

農業産出額

3,551億円【全国8位】

※出典: 令和6年農業総産出額及び生産農業所得(全国)、令和6年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)

基幹的農業従事者数

29,843人

※出典: 2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)、認定農業者の認定状況(令和7年3月末現在)、令和2年国勢調査(総務省統計局)



◆ 林業

林業産出額

28.5億円【全国35位】

※出典: 令和6年林業産出額

林業従事者数

518人

※出典: 2024年度愛知県林業統計書



◆ 漁業

漁業産出額

(海面漁業・養殖業産出額)

168億円【全国24位】

※出典: 令和6年漁業産出額

海面漁業就業者数

2,861人

※出典: 2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)



中面では、**愛知県の農林水産業分野の取り組み**を紹介! →

実は身近な農林水産業をもっと知ってほしい！

愛知県の農林水産業の課題と取り組み

愛知県の農林水産業が目指す

「食と緑の基本計画2030」

イノベーションを生み
成長する農林水産業

県民の理解と参加で
支える農林水産業

環境に対応した
持続可能な農林水産業

施策体系1

農林水産業の未来を担う 人材の確保・育成

- 新たな担い手の確保
- 強い農林水産業を担う人材の育成
- 多様な人材による労働力の確保



施策体系4

安全で良好な暮らしを支える 農山漁村地域づくり

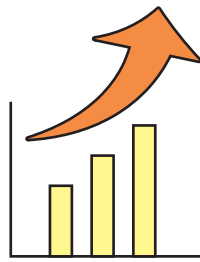
- 防災・減災対策の推進
- 持続可能なインフラマネジメントの推進
- 地域の快適な環境の確保



施策体系2

生産力の高い 農林水産業の実現

- 新技術・新品種の開発・普及
- 生産基盤の強化
- 生産・流通体制の強化



施策体系5

環境と調和のとれた 持続的な農林水産業の実現

- 環境負荷低減の推進
- 環境変化への対応
- 持続可能な生産環境の創出



施策体系3

農林水産物の 需要拡大と 農山漁村の魅力発信

- 国内外の需要開拓
- 食と緑の理解醸成
- 農山漁村の活性化



農林水産業は、「担い手の減少」や「生産コストの高騰」「気候変動による異常気象の頻発化」「自然災害リスクの高まり」など、さまざまな課題に直面しています。

皆さん一人ひとりが身近な農林水産業に興味を持ち、積極的に関わることで、一緒に愛知県の農林水産業を盛り上げていただきたいと思います。

愛知県では「安全で良質な食料等の安定的な供給が確保され、かつ、その適切な消費及び利用が行われること」、「森林等の有する多面的機能が適切かつ十分に発揮されることにより、安全で良好な県民の生活環境が確保されること」の2つを基本理念とする「食と緑が支える県民の豊かな暮らしづくり条例」を2004年に施行しています。

知っていますか？ 愛知県の農林水産業を支える

愛知県農業総合試験場

愛知県農業試験場と愛知県蚕業試験場、愛知県園芸試験場、愛知県養鶏試験場、愛知県肉畜試験場を統合する形で1966年に設立。長久手市にあり、県内農業の振興を目的として、農作物の新品種開発や、気候変動・病害虫に対応した栽培技術の研究などを行っています。



皮ごと食べられるいちじく「みどりの雫（愛知イチジク1号）」

農業総合試験場が開発！



猛暑に負けない、おいしいお米「愛ひとづぶ」

農業総合試験場が開発！



JAあいち経済連と共同開発「愛きりり®」

知っていますか？ 愛知県の農林水産業を支える

愛知県立農業大学校

愛知県が運営する農業大学校。岡崎にあります。専門的な栽培技術や経営を2年間で学ぶ教育部と就農を目指す方向けのニューファーマーズ研修を行う研修部があります。



「いいともあいち運動」に参加しよう！

「いいともあいち運動」は、愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、皆さんに「愛知県の農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を盛り上げていこうという運動で、愛知県版の地産地消の取り組みです。

SNSで随時情報が発信されているので、チェックしてください！



いいともあいち情報広場



岡崎市は林業、 幸田町は筆柿栽培が有名

岡崎市（旧額田町）では人工林を生かした林業が展開され、県産木材の供給地としての役割を担っています。



幸田町は全国の筆柿生産量の約95%を占める日本一の産地です。江戸時代から町南西部の農家の庭先で栽培されていたと言われています。



山口たけしの思い / 愛知県の農林水産業への思い

愛知県の農林水産業の強みは、産地に直結した地域に多数の消費者が住んでいること、と言われます。加えて、最近では、デジタル技術活用によるデータ管理や自動化の促進、工場廃熱の活用など、モノづくり産業での強みを活かしたチャレンジも進んできています。令和の米騒動と言われたコメの価格高騰や、気候変動に伴う猛暑による収穫量への悪影響などから、何より大切な食の安全と安心を確保するためにも、県内農林水産業の課題解決に取り組んで参ります。皆さんも、今回紹介した各種県産品を食べて、猛暑を乗り越えましょう。

